

URL構造変更がSEO検索順位に与える影響：日本語URLの検証事例

著者情報 / Author Information

著者 / Name	柏崎 剛 / Tsuyoshi Kashiwazaki
所属 / Affiliation	株式会社コンテンシャル / Consential Co., Ltd.
言語 / Language	日本語 / Japanese
X Account	@tkashiwazaki2
ORCID	0009-0000-2545-3055
バージョン / Version	1.0.0
発行日 / Publication	2025年9月15日 / September 15, 2025
ウェブサイト / Website	SEO対策研究室 / SEO Strategy Research Laboratory
メール / Email	info@tsuyoshikashiwazaki.jp
設立 / Founded	2012年6月26日 / June 26, 2012
所在地 / Address	〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-2 第二桑野ビル5D 5D, Daini Kuwano Building, 2-26-2 Yoyogi, Shibuya-ku, Tokyo 151-0053, Japan
電話 / Phone	03-6276-4579 / +81-3-6276-4579
FAX / Fax	03-3299-1134 / +81-3-3299-1134
ライセンス / License	CC BY 4.0

Abstract（要旨）

本研究では、GoogleのURL構造ベストプラクティスに従い、英語URLから日本語URLへの変更が検索順位に与える影響を検証した。「LSIキーワード」で検索上位（1-3位）を維持していたページのURLを、Googleの推奨に従い `what-is-lsi-in-seo` から `lsi`キーワードへ変更した結果、翌日から順位が下落し、最終的に20位以降まで転落した。301リダイレクトによる適切な移行処理を実施したにも関わらず、日本語URLへの変更は検索順位に負の影響を与えた。この結果は、Googleの公式ガイドラインと実際の検索アルゴリズムの挙動に乖離が存在する可能性を示唆している。

Keywords (キーワード)

SEO (検索エンジン最適化)

URL構造

日本語URL

検索順位

Googleアルゴリズム

301リダイレクト

LSIキーワード

ウェブサイト最適化

1. Introduction (序論／導入)

検索エンジン最適化（SEO）において、URL構造は重要な要素の一つとされている。Googleは「Google検索におけるURL構造のベストプラクティス」^[1]において、ユーザビリティと検索パフォーマンスの向上を目的としたガイドラインを提供している。特に注目すべきは、「オーディエンスが日本語で検索している場合は、URLに日本語の単語を使用してください」という推奨事項である。

本研究では、実際のウェブサイトにおいて、このガイドラインに従ったURL変更が検索順位にどのような影響を与えるかを検証した。対象となったのは、「LSIキーワードとは？共起語との違いやSEOでの使い方をわかりやすく解説」という記事で、「LSIキーワード」というクエリで長期間上位表示を維持していたコンテンツである。

2. Methods (方法)

2.1 実験対象

実験対象は、2024年5月に公開された「LSIキーワードとは？共起語との違いやSEOでの使い方をわかりやすく解説」という記事である。この記事は以下の特徴を持つ：

- ターゲットキーワード：「LSIキーワード」
- 初期URL：<https://www.tsuyoshikashiwazaki.jp/blog/what-is-lsi-in-seo/>
- 公開時期：2024年5月（別ドメインから移設）
- 初期順位：1位～3位を安定的に維持

2.2 実験手順

実験は以下の手順で実施された：

フェーズ	日付	実施内容	技術的詳細
Phase 1	2024年5月～2025年6月20日	ベースライン測定	英語URLでの順位を継続的に記録
Phase 2	2025年6月21日	URL変更実施	301リダイレクトによる日本語URLへの移行
Phase 3	2025年6月22日～8月	影響測定	順位変動の追跡と記録

2.3 URL変更の詳細

変更前：<https://www.tsuyoshikashiwazaki.jp/blog/what-is-lsi-in-seo/>
変更後：<https://www.tsuyoshikashiwazaki.jp/blog/lsiキーワード/>

変更にあたっては、301永続的リダイレクトを設定し、検索エンジンに対してページの移動を適切に通知した。コンテンツ自体は一切変更せず、URLのみを変更することで、純粋にURL構造の影響を測定できるように配慮した。

3. Results（結果）

3.1 検索順位の推移

URL変更後の検索順位推移を図1に示す。変更直後から顕著な順位下落が観察された。

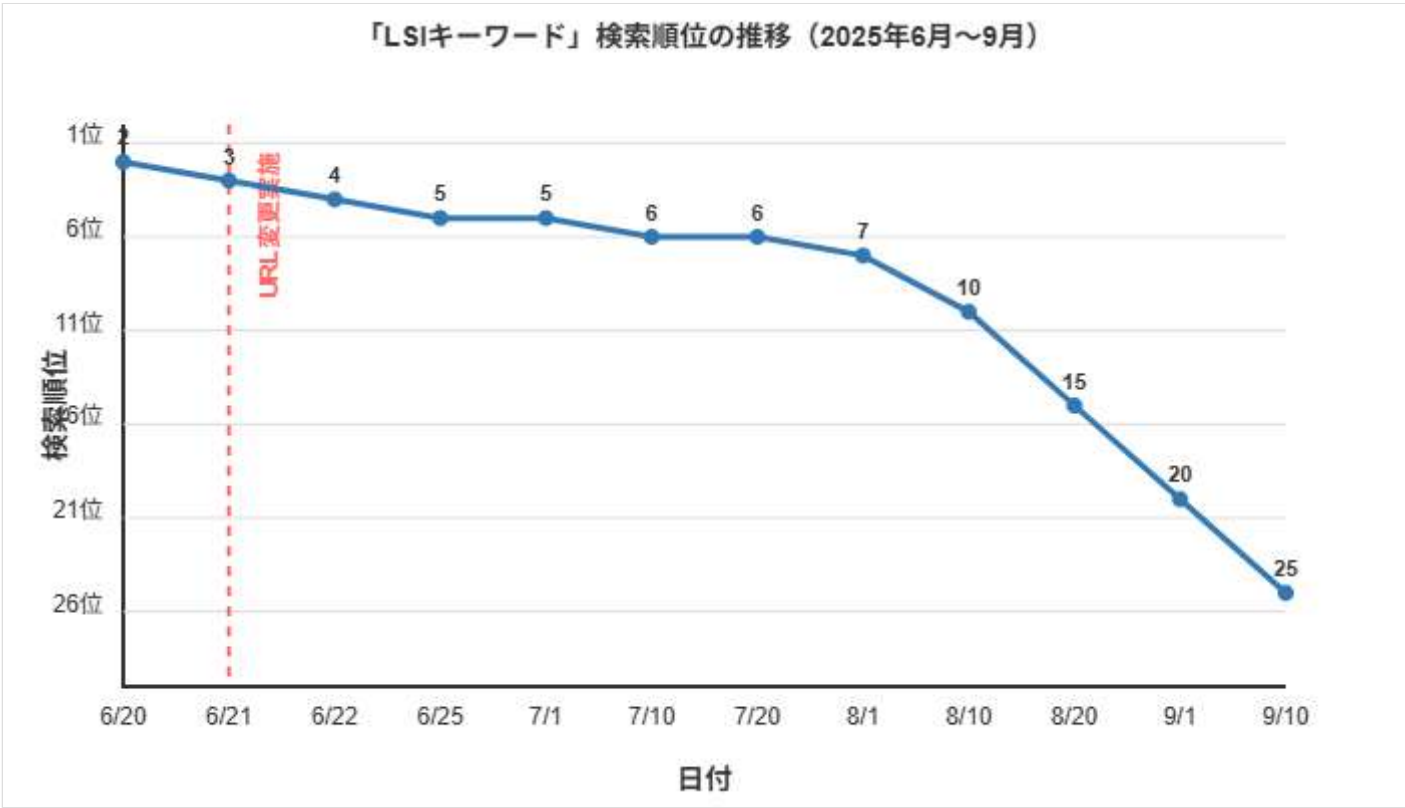


図1：「LSIキーワード」検索順位の推移

3.2 タイムライン

2025年6月21日	URL変更実施（what-is-lsi-in-seo → lsiキーワード） 301リダイレクト設定
2025年6月22日	順位下落開始（3位 → 4位）
2025年7月中旬	6位まで下落

2025年8月

/lsiキーワード/ URLが検索結果から消失
代替として /kw/ ページが7位付近に表示

2025年9月

20位以降まで転落

3.3 観察された現象

期間	表示URL	順位	備考
変更前	/blog/what-is-lsi-in-seo/	1-3位	安定的に上位表示
変更直後	/blog/lsiキーワード/	3-6位	徐々に下落
8月以降	/kw/	7位→20位以降	異なるページが表示

4. Discussion（考察）

4.1 結果の解釈

本実験の結果は、Googleの公式ガイドラインに従った日本語URL採用が、必ずしも検索順位の向上につながらないことを示している。むしろ、安定していた上位表示が大幅に悪化するという、ガイドラインとは逆の結果となった。

4.2 考えられる要因

順位下落の要因として、以下の可能性が考えられる：

- 日本語URL自体の問題：エンコーディングや処理の複雑性により、検索エンジンが適切に評価できない可能性
- 作為的な最適化への警戒：ターゲットキーワードをそのままURLに使用することが、過度な最適化として判定された可能性
- 301リダイレクトの影響：URL変更に伴うリダイレクトが、ページの評価に負の影響を与えた可能性
- URL履歴の重要性：長期間使用されていたURLからの変更が、信頼性シグナルの喪失につながった可能性

4.3 特異な現象の分析

8月以降、本来の記事ページではなく、LSIキーワードツールのページ（/kw/）が検索結果に表示されるようになった。このページは「LSIキーワードとは何か」を説明するページではなく、キーワード抽出ツールのページである。これは、検索意図とコンテンツのミスマッチを示しており、URL変更が検索エンジンのページ理解に混乱を招いた可能性を示唆している。

4.4 ガイドラインとの乖離

Googleは「オーディエンスが日本語で検索している場合は、URL に日本語の単語を使用してください」と明確に推奨している^[1]。しかし、本実験の結果は、この推奨事項が必ずしも有効でないことを示している。これは以下の点で重要な示唆を含む：

- 公式ガイドラインと実際のアルゴリズムの挙動に乖離が存在する
- ガイドラインの適用には、個別のケースに応じた慎重な判断が必要
- 既に良好なパフォーマンスを示しているURLの変更はリスクを伴う

5. Conclusion（結論）

本研究は、GoogleのURL構造ベストプラクティスに従った日本語URLへの変更が、検索順位に負の影響を与えた事例を報告した。安定的に1-3位を維持していたページが、URL変更後に20位以降まで転落したという結果は、SEO実践における重要な教訓を提供する。

この結果は、検索エンジン最適化において、公式ガイドラインを盲目的に適用することのリスクを示している。特に、既に良好なパフォーマンスを示しているページについては、URL構造の変更は慎重に検討すべきである。

今後の検証として、URLを元の英語形式（/what-is-lsi-in-seo/）に戻すことで、順位が回復するかを確認する予定である。この追加実験により、URL変更の可逆性と、検索エンジンのURL評価メカニズムについてさらなる知見が得られることが期待される。

6. References（参考文献）

- Google. "Google 検索における URL 構造のベスト プラクティス". Google Developers. <https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/url-structure?hl=ja> (accessed 2025-09-15)
- 柏崎剛. "LSIキーワードとは？共起語との違いやSEOでの使い方をわかりやすく解説". SEO対策研究室. <https://www.tsuyoshikashiwazaki.jp/blog/what-is-lsi-in-seo/> (2024-05)
- RFC 3986: Uniform Resource Identifier (URI): Generic Syntax. <https://www.rfc-editor.org/rfc/rfc3986>
- Google. "URL構造". Google検索セントラル. <https://developers.google.com/search/docs/fundamentals/seo-starter-guide?hl=ja#url-structure>